

燕第一地区まちづくり協議会報

(第45号)

令和 6 年 12 月 1 日発行
事務局 燕市柳山 1580 番地
小池公民館 TEL64-2202

燕第一まちづくり協議会主催 防災避難訓練が実施されました。

10月12日(土)午前8時30分、弥彦山麓を震源としたM8.0、震度6強の地震が発生したとの想定で、燕第一地区まちづくり協議会主催の防災避難訓練が実施されました。午前8時30分の地震発生で身を守る行動(机の下に身を伏せる等)を行った後、各自治会の班(組)で定めてある「いっとき避難所」へ避難者カードを持って避難しました。

班(組)ごとの安否確認と避難者集計を行ない、最寄りの指定避難所である小池小学校・小池中学校・大関小学校へ避難し、避難者の報告及び指定避難所運営訓練を行いました。

その後、各指定避難所で炊き出し訓練を行い、避難者から自分が食べるお握りを握ってもらい、みそ汁を受け取って食べて頂きました。避難者カード提出による集計の結果、避難者は876名でした。このように避難者の数を早く正確に把握することは、次の対策(非常食配付・避難場所割振り等)が混乱なく実施できるようになります。また中学生が、避難者リスト作成や安否確認等に携わり、若い力と行動力を如何なく発揮しました。



集計作業



テント内での炊き出し訓練



お握りとみそ汁の試食



みんなで作る案山子勢ぞろい開催

真夏の風物詩となっている「みんなで作る案山子勢ぞろい」は今年で16回目を迎え、大勢の参加者のもと8月4日(日)8時30分から地元市議会議員を迎えて、開会式を挙行了しました。

26体の案山子が稲穂に揺れる農道で、豊作を祈りながら8月4日(日)から8月25日



(日)までの3週間展示され、大勢の方から見学して頂きました。

「燕・弥彦消防本部」体験視察

7月6日（土）、「燕・弥彦消防本部」へ、まち協主催事業「体験視察」を行い、総勢 35 名が参加しました。最初に大河津分水路改修事業「にとこみえーる館」及び「左岸掘削現場」で工事の進捗状況の見学。その後、「燕・弥彦消防本部」で災害体験を行い、災害の怖さと同時に防災意識を常に持っていることと、その準備をすることの重要性を痛感して帰路につきました。



地震体験



はしご車



はしご車



工事の様子

体験視察ツアーに参加して

参加者から手記を頂きましたので、次のとおり紹介します。

○小池中学校3年 生徒会 会長 田野口 茉緒さん

実際台風19号の際、どれだけ水位が上がったのか、目で見ることができ、自然災害の恐ろしさについて学ぶことができました。また、大河津分水路が工事により、もっと広がることを知り、今までの水害の知識から、対策が進化してきており、防災意識がすごいなと思いました。

消防署では、煙の体験をした際、本当に起こったら、ここまで視界が悪くなってしまうものなのだと知りました。火事が起こらないように努めることがもちろん大事ですが、起こってしまったら、ここで学んだことを活かせるといいなと思います。はしご車に乗るという貴重な経験をさせていただき、その高さに驚きました。なかなかない経験なのですごく楽しかったです。

○小池中学校3年 生徒会 副会長 清水 朝日さん

このたびは、防災視察に参加させていただきありがとうございました。ふだんは行けない場所である大河津分水路の掘削現場を自分の目で見られたことで、分水路で大規模な工事が行われていることを実感できました。今回大変貴重な機会をくださり、ありがとうございました。

○小池中学校3年 生徒会 書記 佐藤 孝太郎さん

今回の防災施設視察では、「にとこみえーる館」で第二床固改修工事の規模や完成図を見学しました。大規模な工事ですが、無事完成して、より安全な大河津分水路になってほしいです。

消防署では避難所の見学や地震・煙体験をして、災害が起こったときに動き出すのではなく、日頃から災害への準備をしていくことが大切だと思いました。

○小池中学校3年 生徒会 書記 神田 直汰郎さん

防災施設視察に行って、大河津分水路がいま何のための工事をしているのか、どのような工事をしているのかが、わかりました。午後の消防署では、貴重な体験をさせていただき、地震や火災で大切なことなどを改めて理解することができました。この体験を忘れずに、今後の生活に役立てていきたいです。

令和6年度今後の主な事業

- ★ 2月 2日（日）13:00～ 「つばめっ子かるた」大会
- ★ 3月 16日（日） 9:00～15:00 雪割草展示会